

株式会社 丸 新

環境活動レポート  
(1年間の運用期間レポート)

(対象期間:2017年6月～2018年5月)

発行日: 2018年 9月 5日

改定日: 2018年 10月25日

## 目 次

1. 環境方針	1P
2. 組織の概要	2-4P
3. 環境目標(中期目標)	5P
4. 環境活動計画及び目標達成状況	6P
5. 環境活動の取り組み計画と評価及び次年度の取り組み	7P
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	8P
7. 代表者による全体の評価と見直し	8P
8. 環境活動紹介	8P

## □ごあいさつ

私達の生活する21世紀は環境の時代であると言われております。これまで人類は産業革命以来、利便性の追求に終始し、環境に関してはこれを後回しにしてきました。このことにより、地球環境は破壊が進み、地球温暖化が進んでまいりました。将来のために私達は協力して地球環境問題に対応して行かなければなりません。子孫に残すことになる負の遺産を最小限にとどめる必要があります。当社は建物の解体、産業廃棄物の処分・収集運搬を主要事業としている中で少しでも環境面の負荷を減らし、リサイクル率の向上を目指して地球環境の改善、子孫にクリーンな地球を残すべく努力をしております。ここに、本年度の当社環境活動の結果をご報告し、皆様のご意見をあおぎたいと存じます。

株式会社 丸 新

## 1. 環 境 方 針

### < 環境理念 >

#### < 基本理念 >

株式会社丸新は、「地球環境の保全」という意識を常に持ち、限りある資源を無駄にしない循環型社会を構築するため、廃棄物のリサイクルに取り組んで行くことにより、地域環境及び地球環境に貢献することができる企業を目指していきます。

#### < 行動指針 >

1. 環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。
2. 廃棄物の削減及び再資源化を推進します。
3. 化石燃料及び電気の使用に伴う二酸化炭素排出量を削減します。
4. 現場では周辺環境に配慮した工事を行います。
5. 水資源の保全のため排水量を削減します。
6. グリーン購入を積極的に行います。
7. 環境への取組を環境活動レポートとして取りまとめ、公表します。
8. この方針を社内外に開示し、環境保全意識の向上に努めます。

制定日：2012年3月1日

代表取締役社長 新 美 英 人

## 2. 組織の概要

### 1) 名称及び代表者名

株式会社 丸 新  
代表取締役社長 新美 英人

### 2) 所在地

本社及び駐車場 愛知県北名古屋市熊之庄石原68番地  
中間処理場 愛知県北名古屋市熊之庄石原59番地  
駐車場(3ヶ所) 愛知県北名古屋市熊之庄石原25番地、32番地、57番地

### 3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 新美 義 哉 TEL:0568-22-7728  
担当者 新美 義 哉 TEL:0568-22-7728

### 4) 事業内容(認証・登録範囲)

建物の解体、産業廃棄物処分業、産業廃棄物収集運搬業  
建物、内装の解体を行い、廃棄物を収集、事業場にて選別処分等リサイクルを行う。

### 5) 事業の規模

売上高 4億2千万円(2017年度)  
主要取扱量 産業廃棄物処分量 13,529m<sup>3</sup>  
産業廃棄物収集運搬業 13,529m<sup>3</sup>  
解体工事 342 件

	本社・駐車場	中間処理場	駐車場(3ヶ所)
従業員	18名		
延べ床面積	1,090m <sup>2</sup>	693m <sup>2</sup>	2,026m <sup>2</sup>

(6) 事業年度 6月～5月

(7) 設立年月日 平成 5年 6月18日

(8) 資本金 1000万円

(9) 認証登録範囲 全組織及び全活動

(10) 許可一覧

処分業(選別)	許可区域	許可品目						
		廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス	がれき類
	愛知県	○	○	○	○	○	○	○
	許可番号第02320023955号 許可年月日 平成28年 1月28日 許可期限 平成32年12月18日							
収集運搬	愛知県	○	○	○	○	○	○	○
	許可番号第02300023955号 許可年月日 平成26年10月15日 許可期限 平成31年10月12日							
	岐阜県	○	○	○	○	○	○	○
	許可番号第02100023955号 許可年月日 平成30年 8月28日 許可期限 平成35年 8月27日							
	静岡県	○	○	○	○	○	○	○
	許可番号第02201023955号 許可年月日 平成30年 7月16日 許可期限 平成35年 7月15日							
	長野県	○	○	○	○	○	○	○
	許可番号第2009023955号 許可年月日 平成30年 4月28日 許可期限 平成35年 4月27日							
	三重県	○	○	○	○	○	○	○
	許可番号第02400023955号 許可年月日 平成26年 1月11日 許可期限 平成31年 1月10日							
	滋賀県	○	○	○	○	○	○	○
	許可番号第02501023955号 許可年月日 平成30年 5月13日 許可期限 平成35年 5月12日							
	京都府	○	○	○	○	○	○	○
	許可番号第02600023955号 許可年月日 平成30年 5月22日 許可期限 平成35年 4月 7日							
	奈良県	○	○	○	○	○	○	○
	許可番号第02900023955号 許可年月日 平成30年 5月23日 許可期限 平成35年 5月22日							
	和歌山県	○	○	○	○	○	○	○
	許可番号第03000023955号 許可年月日 平成30年 4月12日 許可期限 平成35年 3月31日							
	大阪府	○	○	○	○	○	○	○
	許可番号第02700023955号 許可年月日 平成30年 5月29日 許可期限 平成35年 5月28日							
兵庫県	○	○	○	○	○	○	○	
許可番号第02803023955号 許可年月日 平成30年 6月 5日 許可期限 平成35年 6月 4日								
石川県	○	○	○	○	○	○	○	
許可番号第01600023955号 許可年月日 平成30年 5月20日 許可期限 平成35年 5月19日								
富山県	○	○	○	○	○	○	○	
許可番号第01605023955号 許可年月日 平成30年 5月21日 許可期限 平成35年 5月16日								
福井県	○	○	○	○	○	○	○	
許可番号第1801023955号 許可年月日 平成30年 5月14日 許可期限 平成35年 5月13日								

神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○
許可番号第01400023955号 許可年月日 平成26年 2月 7日 許可期限 平成31年 2月 6日								
山梨県	○	○	○	○	○	○	○	○
許可番号第01900023955号 許可年月日 平成30年 5月16日 許可期限 平成35年 5月15日								
新潟県	○	○	○	○	○	○	○	○
許可番号第01509023955号 許可年月日 平成30年 6月 4日 許可期限 平成35年 5月19日								
広島県	○	○	○	○	○	○	○	○
許可番号第03400023955号 許可年月日 平成30年 5月21日 許可期限 平成35年 5月20日								
福岡県	○	○	○	○	○	○	○	○
許可番号第04000023955号 許可年月日 平成30年 6月17日 許可期限 平成35年 6月16日								
北海道	○	○	○	○	○	○	○	○
許可番号第00100023955号 許可年月日 平成30年 6月 6日 許可期限 平成35年 5月31日								
沖縄県	○	○	○	○	○	○	○	○
許可番号第04704023955号 許可年月日 平成30年 6月 7日 許可期限 平成35年 6月 6日								
東京都	○	○	○	○	○	○	○	○
許可番号第13-00-023955号 許可年月日 平成30年 6月 7日 許可期限 平成35年 6月 6日								
岡山県	○	○	○	○	○	○	○	○
許可番号第03300023955号 許可年月日 平成29年 8月 1日 許可期限 平成34年 7月31日								
群馬県	○	○	○	○	○	○	○	○
許可番号第01000023955号 許可年月日 平成29年 8月10日 許可期限 平成34年 8月 9日								
埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○
許可番号第01100023955号 許可年月日 平成29年 9月 6日 許可期限 平成34年 9月 5日								
栃木県	○	○	○	○	○	○	○	○
許可番号第00900023955号 許可年月日 平成29年 9月11日 許可期限 平成34年 9月10日								
千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○
許可番号第01200023955号 許可年月日 平成29年10月24日 許可期限 平成34年10月23日								
茨城県	○	○	○	○	○	○	○	○
許可番号第00801023955号 許可年月日 平成29年10月24日 許可期限 平成34年10月23日								
建設業	愛知県:般・27第055746号 土木一式、とび・土工 許可年月日平成27年 7月12日 許可期限平成32年 7月11日							
	愛知県:般・28第055746号 建築工事、解体工事 許可年月日平成28年 8月17日 許可期限平成33年 8月16日							
	愛知県:般・30第055746号 内装仕上工事他12工事種目 許可年月日平成30年 4月12日 許可期限平成35年 4月11日							

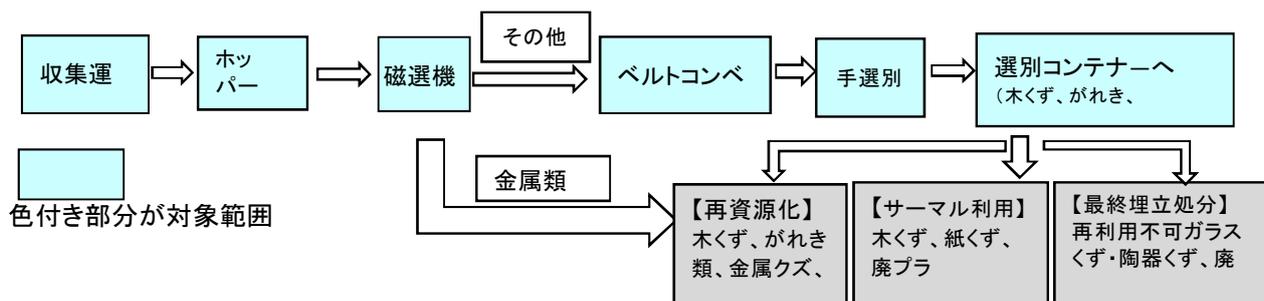
(11) 施設等の状況

収集運搬 コンテナ車8台、トラック9台

処分業 選別

処理能力 54m<sup>3</sup>/日

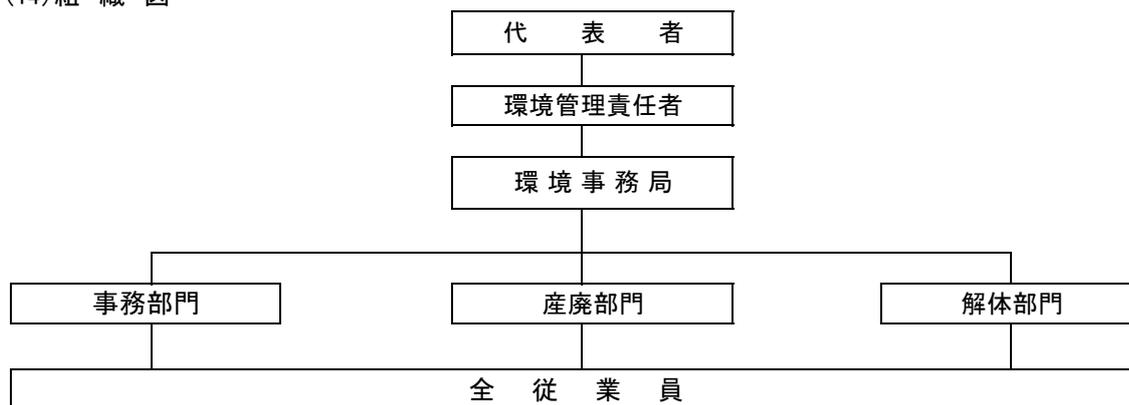
(12) 処理方式及び処理工程図



(13) 処理実績

2017年度(2017.6~2018.5) 産業廃棄物 収集運搬量 13,529m<sup>3</sup> 処分量 13,529m<sup>3</sup>

(14) 組織図



役割・責任・権限

・代表者	環境経営に関する統括責任、環境管理責任者の任命、環境方針の策定、環境目標、環境活動計画、環境レポートの承認、見直し実施、資源の準備。
・環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理、環境活動結果の代表者への報告
・環境事務局	環境管理責任者の補佐、環境活動の実績集計
・各部門長	自部門における環境経営システムの実施
・全従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚し環境活動に参加

### 3. 環境目標(中期目標)

項目		年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			(6月～5月)	(6月～5月)	(6月～5月)	(6月～5月)
			(基準年度)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
二酸化炭素 排出量 (使用する 電気の二酸化 炭素排出 係数0.513)	電力の二 酸化炭素 排出量削減	基準年度比	—	95%	94%	93%
		kg-CO2	13,484	12,810	12,675	12,540
	ガソリン、 軽油の二酸化 炭素排出 量削減	基準年度比	—	96%	95%	94%
		ガソリン使用量 (ℓ)	7,156	6,870	6,798	6,727
		軽油使用量(ℓ)	63,201	60,673	60,041	59,409
		燃料合計(ℓ)	70,357	67,543	66,839	66,136
		売上原価単位燃 料合計ℓ/売上10 万円	14.51	13.93	13.78	13.64
		kg-CO2 ガソリン	16,614	15,949	15,783	15,617
		kg-CO2 軽油	165,861	159,227	157,568	155,909
		小計 (kg-CO2)	182,475	175,176	173,351	171,526
		売上原価単位 CO2小計/売上 10万円	37.6	36.1	35.7	35.4
売上(10万円)	4,850	4,850	4,850	4,850		
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	195,959	—	—	—	
一般廃棄物の削減	一般廃棄物 排出量kg	704	676	669	662	
	基準年度比	—	96%	95%	94%	
産業廃棄物再資源化率 の向上 ※2	リサイクル率% 再資源化量/全処 理量	75%	76%	77%	78%	
節 水	水道水量m <sup>3</sup>	240	230	228	226	
	基準年度比	—	96%	95%	94%	
グリーン購入	購入比率%	91%	92%	93%	94%	

※1 二酸化炭素排出量の目標実績評価は、燃料合計(ガソリン+軽油)のCO2売上原単位とする。

※2 (再資源化向上活動)

- ・解体現場での分別を出来る限り行うことにより廃棄物のリサイクル率を上げる。
- ・解体現場、処分場での振動、騒音、粉塵を削減することにより環境に配慮する。
- ・産業廃棄物(建設廃材を含む最終処分)の削減。
- ・化学物質は使用していない。(P R T R対象物質)
- ・中部電力の2013年度(平成25年度)実績の二酸化炭素排出係数0.513を採用している。

#### 4. 環境活動計画及び目標達成状況

項目		主な目標達成手段	責任部門 責任者	2015年度(基準年度)	2017年度 (6月～5月) 対象期間		
					(目標)	(実績)	(評価)
二酸化炭素 排出量 (使用する 電気の二酸化 炭素排出 係数0.513)	電力の二 酸化炭素 排出量削減	空調温度の適正 化 冷房28° 暖 房20°	事務部 新美英人	kg-CO2	12,675	10,189	○
				基準年度比	94%	75%	
	ガソリン、 軽油の二酸化 炭素排出 量削減	アイドリングス トップ、急加速 急発進の防止、 冷房の控えめ使 用、運転マニ ュアルの 設置	産廃解体部 門 新美義 哉	kg-CO2	173,351	156,370	○
				基準年度比	95%	85%	
				売上原単位 CO2量/売上 10万円	35.7	37.2	×
一般廃棄物の削減		裏紙の使用、分 別ボックスの設 置	事務部 新美英人	kg	669	658	○
				基準年度比	95%	93%	
産業廃棄物（最終処 分）の削減・再資源化 率の向上（建設廃材を 含む）		リサイクル率の 向上、産業廃棄 物の現場での分 別、選別処分の 精度向上	産廃解体部 門 新美義 哉	再資源化率%	77.00%	77.00%	○
節 水		手洗い時の節水 等	事務部 新美英人	m <sup>3</sup>	228	177	○
				基準年度比	95%	73%	
グリーン購入		グリーン購入対 象品目の調査、 事務用品につき 購入	事務部 新美英人	購入比率%	92%	92%	○

- ・評価について達成は○、未達成は×で表示する。
- ・中部電力の2013年度(平成25年度)実績の二酸化炭素排出係数0.513を採用している。
- ・基準年度売上48,500万円、2017年度42,000万円

## 5. 環境活動の取り組み計画と評価及び次年度の取り組み

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

目 標 項 目	取 組 み 計 画	評 価	次年度の取り組み
電 力 の 削 減	<b>電力による二酸化炭素排出量の削減</b>		
	・冷房温度28℃設定とクールビズ運動	○	継続する。
	・暖房温度の20℃設定とウォームビズ運動	△	継続する。
	・昼休みの消灯	◎	継続する。
	・不要照明の消灯	△	不要照明の消灯をする。
	・OA機器の省エネモード設定	○	継続する。
	・水銀灯をメタルハライド型に交換 ・LED照明を設置、ソーラーを設置	× ○	 継続する。
自動車燃料の削減	<b>自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減</b>		
	・アイドリングストップ	○	継続する。
	・急加速の抑制	○	継続する。
	・冷房の控えめ使用	△	冷房の控えめ使用。
	・買換え時は燃費マークを優先する ・工事の効率化による車両燃費削減（重機含む）	○ —	 次年度活動項目
一般廃棄物の削減	<b>一般廃棄物の削減</b>		
	・分別ボックスの設置	×	分別ボックスを設置。
	・裏紙使用 ・古紙のリサイクル化	○ ○	 継続する。
産業最終処分削減	<b>産業廃棄物（最終処分）の削減</b>		
	・工程ロスの削減	△	工程ロス削減実行す
	・解体現場での分別励行 ・分別の徹底による有価物化	△ ○	 現場での分別を徹底。 継続す
水道水の削減	<b>節水</b>		
	・手洗い水量の適正化	○	引き続き努力する。
事務用品のグリーン購入	<b>グリーン購入</b>		
	・グリーン製品の調査 ・文房具グリーン製品購入	○ ○	 事務用品につき購入。 継続する。
環 境 配 慮	<b>社会貢献</b>		
	・周辺の清掃、草刈り	○	定期的に行う。
	・作業開始前の周辺配慮を行い確認する	○	継続する。

## 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### 6-1 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

H29.9.5

適用される主な環境関連法規等
廃棄物処理法
北名古屋市産業廃棄物処理施設の設置等の指導に関する条例
建設リサイクル法
県民の生活環境の保全に関する条例
愛知県産業廃棄物適正処理指導要綱
愛知県廃棄物の適正な処理の促進に関する条例
家電リサイクル法
フロン排出抑制法
浄化槽法
グリーン購入基準
特定都市河川浸水被害対策法
オフロード法
消防法
自動車Nox・PM法

弊社に適用される環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、遵守されていることを

確認しました。

### 6-2 違反、訴訟等の有無

違反、訴訟等も対象期間および過去5年間ありませんでした。

## 7. 代表者による全体の評価と見直し

- ・ 今期も建物内装の解体についてはできるだけ現場での分別を行うよう努力を続ける。  
前期より受託廃棄物の内容変化により、分別が難しくなっているがさらにリサイクル率の数値を上げ努力したい。
- ・ 運搬での軽油、営業でのガソリンについては運転前後の点検票を用いてチェックを行い、運転日誌により燃費チェックを行っている。今期は仕事効率が悪い現場が多く成果をあげるのが難しくなっている。  
前期に比べ外注工事が少なく、自社運搬量が増加したので軽油使用料が増加した。
- ・ 電気について新事務所建設により環境が変化した。太陽光により売電しているが自社使用すればCO2削減となる。
- ・ グリーン購入は事務用品について購入を奨励している。良い状況で進んでいる。
- ・ 節水については努力を払ってきたので前期に引き続き成果をあげている。  
目標設定値についても1期状況を見て変更するか検討する。  
環境管理システムのPDCAは回っていると判断する。

## 8. 環境活動の紹介

建物等の解体により発生した産業廃棄物の現場選別及び処分業により可能な限りリサイクルを行い、最終処分の量を削減することに努めております。

また、解体現場は営業中の商業施設の一部や、使用中のビルの一角の改装のための解体がほとんどであり、防塵対策や、騒音・振動対策は徹底して行い、最善の策をとると共に、工事現場から営業中店舗内へ出る場合は、徹底した足元の清浄化を行っています。

これらの環境対策は発注元から高い評価を受けています。